

# 特定行為研修修了者数と配属先

※調査にご回答いただいた、特定行為研修修了者の在籍する施設の情報を掲載しております。

施設名	特定行為研修修了者		特定行為研修修了者の配属先					
	人数	割合(%)	外来		一般病棟		その他	
県北医療センター 高萩協同病院	4	3.6	内科	1	内科・外科・整形	2		
					産婦人科	1		
北茨城市民病院	1	0.9					救急外来	1
常陸大宮済生会 病院	6	5.5			内科	2	感染対策室	1
					外科	3		
日立総合病院	3	0.4	化学療法センター	1	血液・腫瘍内科	1	手術室	1
日鉱記念病院	1	3.2			内科	1		

県央①

		特定行為研修修了者	特定行為研修修了者の配属先					
施設名	人数	割合(%)	外来		一般病棟		その他	
水戸済生会 総合病院	33	7	専門(褥瘡)	1	消化器内科	16	ICU・救急	10
					消化器外科		手術室	2
					総合内科			
					泌尿器科			
					整形外科			
					周産期		4	
独立行政法人国立病院 機構 茨城東病院	4	2.3			呼吸器内科・重症心 身障碍児			
茨城県立中 央病院	35	5.8	放射線診断科	1		10	救急	5
							ICU	3
							CCU	2
							HCU	2
							手術室	2
							看護局	9
茨城県立 こころの 医療センター	2	1.1					精神病棟 慢性期	1
							精神病棟 身体合併症	1

県央②

施設名	人数	割合(%)	外来		一般病棟		その他	
茨城県立こども病院	5	2	小児	1	小児内科・外科	1	ICU	1
							NICU	1
							訪問看護	1
水戸赤十字病院	3	1			消化器外科	1	患者支援センター	1
							がん診療推進室	1
水戸協同病院	5	0.3	皮膚科	1	外科	1	感染管理室	1
			内科	1	整形外科	1		
日製ひたちなか総合病院	4	1.2	中央処置室	1	神経内科	1	TQM統括室	1
			全般を管理する主任	1				
大久保病院	2	2			地域包括ケア病棟	1		
					療養病棟	1		
水戸中央クリニック	1	16.6			透析室	1		
水戸ブレインハート	2	2			脳神経外科	1		
					循環器	1		

県南①

施設名	特定行為研修修了者		特定行為研修修了者の配属先					
	人数	割合 (%)	外来		一般病棟		その他	
筑波大学附属病院	30	3	全診療科	2	婦人科・乳腺外科・神経内		ICU	7
					腎泌尿器科・呼吸器外科・整形外		小児ICU	0
			内分泌代謝内科	1	消化器外科・脳外・脳卒中		HCU	5
					血液内科・神経内科・消化器内科・小児外		SCU	1
			外来化学療法室	1	膠原病リウマチアレルギー内科・内分泌代謝内科		高度救命救急センター	2
					内分泌代謝内科		手術室	2
						看護部	1	
土浦協同病院	20	2	外来	3			EICU、GICU	3
			手術室、ER、化学療法センター	3			管理	1
筑波メディカルセンター病院	7	1	救急診療外来	1			特定集中治療室	2
			専門診療外来	1			横断	3
国立病院機構霞ヶ浦医療センター	3	2	外科	1	外科	1	看護部長室	1
石岡第一病院	2	2	内科・整形外科	2				
つくばセントラル病院	3	1			消化器外科・整形外科	2	看護部室	1

県南②

施設名	人数	割合(%)	外来		一般病棟		その他	
筑波記念病院	2	5	救急	1	消化器外科	1		
筑波学園病院	2	0.5					看護部	1
							手術部	1
東京医科大学 茨城医療センター	3	0.7					総合救急センター	1
							感染制御部	1
							看護部	1
牛久愛和総合 病院	3	0.7	外科	1	脳神経外科	1		
			内科	1				
龍ヶ崎済生会 病院	4	1.6	泌尿器	1	消化器内科・外科	2	手術室	1
守谷慶友病院	3	2			急性期混合	1	看護部（管理）	1
					地域包括ケア	1		
取手北相馬保 健医療センター 医師会病院	3	3		1		1	手術室	1
神立病院	1	1.2				1		
水海道厚生病 院	1	1	精神科	1				

県西

施設名	人数	割合(%)	外来		一般病棟		その他	
茨城西南医療センター	8	2			内科	1	ICU	2
					外科	2	手術室	3
古河赤十字病院	6	3.4			消化器外科、内科、 泌尿器科	2	手術部	1
					整形外科・血管外科	1	連携室	1
					循環器内科、腎臓 内科	1	看護部	1
茨城県西部 メディカルセンター	3	1.5		1		1	手術室	1
友愛記念病院	4	5.7			循環器科・内科・整 形外科	1	ハイケアユニット	1
					緩和ケア	1	手術室	1
協和中央病院	2	1.4	全科	1	脳外科	1		
湖南病院	1	0.1	整形外科	1				

## 鹿行

施設名	特定行為研修修了者		特定行為研修修了者の配属先				
	人数	割合(%)	外来		一般病棟		その他
医療法人 社団善仁 会 小山記念 病院	3	1.4	化学療法室	1	脳神経外科・整形外科	2	

## 老人保健施設

施設名	特定行為研修修了者		特定行為研修修了者の配属先			
	人数	割合(%)	外来	一般病棟	その他	
葵の園・ 水戸 県央	1	7.7				



訪問看護ステーション

施設名	特定行為研修修了者		特定行為研修修了者の配属先		
	人数	割合(%)	外来	一般病棟	その他
訪問看護ステーションかけはし(県北)	0	0	株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院移動の為不在		
訪問看護ステーションゆりかご☆ナース(県央)	2	16			訪問看護 2
ケアーズ訪問看護リハビリテーション日立南東海(県央)	1	33			訪問看護 1
訪問看護ステーション東取手(県西)	1	1.8			訪問看護 1
訪問看護ステーションかみす(鹿行)	1	14			訪問看護 1

# 活動状況と課題等

各施設の活動状況です。主な活動状況をピックアップしているので、研修修了者数と活動か所の人数が合わない場合がございます。

県北

特定行為の活動状況					
施設名	所属	特定行為区分	回数		備考
県北医療センター高萩協同病院	病棟	栄養、水分に係る薬剤投与	月	2	医師へ輸液の提案
北茨城市民病院	救急外来	①脱水症に対する輸液による補正 ②持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 ③持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	週	1	
常陸大宮済生会病院	外来		月	2	医師より依頼を受けて動脈血採取・腹腔ドレーン抜去実施

県央

特定行為の活動状況

施設名	所属	特定行為区分	回数		備考
水戸済生会総合病院	ICU	麻酔科パッケージ 栄養に係るカテーテル管理 (末梢留置型中心静脈カテーテル管理)関連 循環器関連	週	5	手術室で週一回麻酔科医師と協働で活動 自部署で、区分を活かした行為の実施
	一般病棟	動脈血液ガス分析関連 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	週	3	PHSを持って、横断的に週一回活動(トリアージ・エコー下静脈路確保) 自部署で、区分を活かした行為の実施(動脈採血・プロトコールの活用) 自部署で、区分を活かした行為の実施
	周産期	栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈カテーテル管理)関連 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 創部ドレーン関連	週	3	PHSを持って、横断的に週一回活動(トリアージ・PICC挿入) 自部署で、区分を活かした行為の実施(創部ドレーン抜去、エコー下静脈路確保)
茨城県立中央病院	看護局	末梢留置型中心静脈カテーテルの挿入	月	15	医師からの指示によりPICCを挿入。依頼先は特定行為取得看護師のPHS。
	看護局	褥瘡または慢性創傷の治癒における血流のない壊死組織の除去	月	16	・創傷の洗浄、デブリードメン。依頼先は特定行為取得看護師のPHS。

特定行為の活動状況					
施設名	所属	特定行為区分	回数		備考
茨城県立 こころの 医療セン ター	精神病棟 慢性期	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	週	3	薬の効果や副作用の観察と評価 病棟内勉強会 患者に対して身体的所見、神経所見及び診察しリスク評価 新人看護師へのOJT(フィジカルアセスメント) キャリアラダー研修講師(年1回フィジカルアセスメント) 特定行為実習生の実習サポート
	精神病棟 身体合併症	・精神及び神経症状に係る薬剤投与関連・栄 養水分管理に係る薬剤投与関連	週	1	新人看護師へのOJT (フィジカルアセスメント、メンタルステータスイグザミネーション) キャリアラダー研修講師(年1回フィジカルアセスメント) 患者の栄養状態評価及びや多職種連携、メンタルステータスイグザ ミネーション、要観察者の身体機能評価 特定行為実習生の実習サポート
茨城県立こ ども病院	訪問看護	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	週	8	医療的ケア児に対して 気管カニューレ交換実施
	外来	ろう孔管理関連	週	8	医療的ケア児に対して胃ろう交換を実施
	ICU	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテー テル管理)関連	月	2	ICUにて実施
日製ひたち なか総合病 院	外来	ろう孔管理関連	週	1	胃ろう交換 気管カニューレ交換
	外来	創傷管理関連	週	2	血流のない壊死組織の除去
	病棟	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連		0	医師の事前指示を活用しているため
大久保病院	病棟	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 血糖コントロールに係る薬剤投与関連	週	1	医師の指示の下適宜実施中

県南

特定行為の活動状況

施設名	所属	特定行為区分	回数		備考
筑波大学附属病院	HCU	人工呼吸器	週	2	呼吸器の設定変更、呼吸器からの離脱、鎮静薬の投与量の調整を実施。
	外来	創傷管理関連	週	5	WOCとして活動しながら実施(壊死組織の除去、陰圧閉鎖療法)
	HCU	透析管理関連	週	1	透析室とHCUで実施(血液透析器、濾過器の操作及び管理)
土浦協同病院	外来	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	日	2	手順書に沿って実施
	ER	動脈血液ガス分析関連	週	5	
	OR	呼吸器(気管確保に係るもの)関連・術後疼痛管理関連	月	5	
筑波メディカルセンター病院	横断	呼吸器(人工呼吸療法)	日	3	特定行為依頼の指示にて介入 直接指示にて介入あり 長期呼吸器患者なら退院まで管理
		動脈血液ガス関連	週	3	
		Picc	月	10	
	ICU	動脈血液ガス関連	週	2	自立に向けて訓練中 夜勤帯は基本特定行為は未実施
		中心静脈カテーテル抜去	月	5	
	横断	創傷管理	日	2	
創部ドレーン管理		-	-		

特定行為の活動状況					
施設名	所属	特定行為区分	回数		備考
国立病院 機構霞ヶ浦 医療セン ター	外科病棟	①栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ②栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関 連	月	1	
石岡第一 病院	外来	動脈血液ガス分析関連	日	5	医師を待たずに動脈血採血実施(救急外来) 気管カニューレの交換(外来) 採血結果で点滴内容の変更(病棟) ※外来所属ですが、3つの病棟と外来を行き来していま すので、左記に記載した行為は外来と病棟合わせての 報告です。
		栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	週	2	
		呼吸器関連	月	1	
	外来	動脈血液ガス分析関連	日	3	・医師を待たずに動脈血採血実施(救急外来) ・NPPVの設定変更(病棟) ※外来所属ですが、3つの病棟と外来を行き来していま すので、左記に記載した行為は外来と病棟合わせての 報告です。
呼吸器関連	週	1			
		胃ろう交換	月	1	

特定行為の活動状況

施設名	所属	特定行為区分	回数	備考
筑波記念病院	救急	動脈血液ガス分析関連 呼吸器関連(人工呼吸療法に係るもの)	週 5	救急外来で適宜実施しています。
	消化器外科	創傷管理関連	週 5	陰圧閉鎖療法中の管理
筑波学園病院	看護部	動脈血ガス分析関連	月 30	包括指示のもと及び医師からの依頼
	看護部	PICC・CV	月 15	医師からの依頼・指導医と一緒に実施
	手術部	ドレーン関連	月 20	医師の指示のもと
東京医科大学茨城医療センター	総合救急センター	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	日 5	RSTラウンド
		呼吸器(人工呼吸療法に関わるもの)関連	週 1	
		動脈血液ガス分析関連	日 5	
	感染制御部	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	日 5	
		感染に係る薬剤関連	日 5	
看護部	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	日 5		



特定行為の活動状況					
施設名	所属	特定行為区分	回数		備考
龍ヶ崎済生 会病院	手術室	呼吸器関連	週	4～5	認定看護師でPHSを持っているため、部署以外での特定行為の依頼はPHSに依頼の連絡が入る。
		循環動態に係る薬剤投与関連	週	4～5	
		動脈血液ガス分析関連	月	4～5	
	外来	ろう孔管理関連	週	2～3	認定看護師でPHSを持っているため、部署以外での特定行為の依頼はPHSに依頼の連絡が入る。
		創傷管理関連	月	1	
		創部ドレーン管理	年	1	
	一般病棟	栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)	月	5	PHSがないため、部署責任者に依頼の連絡が入る。
		栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型カテーテル管理)関連	月	3	
	守谷慶友 病院	急性期混 合病棟	動脈血液ガス分析関連	週	1
地域包括 ケア病棟		創傷処置 末梢留置型中心静脈注射用カ テーテル管理	週	1～2	医師の指示のもと、陰圧閉鎖処置の実施 医師の指示を受け、末梢留置型中心静脈カ テーテル留置

特定行為の活動状況					
施設名	所属	特定行為区分	回数		備考
取手北相馬 保健医療 センター 医師会病院	外来	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	週	3	医師からカルテ記載で依頼 医師から直接依頼 状況により必要性を判断して実施
	一般病棟	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	不定期 (半年)	1	栄養管理の学習会を半年に1回(年2回)実施
	手術室	動脈血液ガス分析関連	月	18	ピッチに依頼の連絡あり 今後の方向性等についてのカンファレンス時に事前 依頼あり (いずれもカルテ記載での依頼あり)
神立病院		①呼吸器(人工呼吸療法に係るもの) 関連 ②動脈血液ガス分析関連 ③呼吸器(長期呼吸療法に係るもの) 関連	月	1~2	非侵襲的陽圧換気の設定の変更 侵襲的陽圧換気の設定の変更 直接動脈穿刺による採血 療養型病棟患者の気管カニューレの交換

県西

特定行為の活動状況						
施設名	所属	特定行為区分	回数		備考	
茨城西南医療センター	手術室	麻酔管理パッケージ	日	5	手術室常駐し、麻酔開始と協働して実施可能	
	ICU	人工呼吸器の管理	週	5	医師の指示を待たずに実施 PHSを所持	
	ICU	動脈血ガス採血	週	3		
古河赤十字病院	看護部	呼吸器(気道確保に係るもの)関連、呼吸器(人工呼吸器療法に係るもの)関連、循環器関連、栄養に係わるカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連、栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理)関連、動脈血液ガス分析関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、術後疼痛管理関連、循環動態に係る薬剤投与関連	月	14.8	院内で医師から特定行為の依頼を統括して受け、実施できる看護師へ依頼する。現在、大学院進学中であり、不在のことが多く、件数が少ない。	
	手術室	20区分36行為 ※心嚢ドレーン管理関連以外の全ての区分	月	62.6		手術室を中心に麻酔科と協働して、術中麻酔管理を実施する。また、可能であれば病棟や外来でも特定行為を実施する。
	消化器外科、内科、泌尿器科	外科術後管理パッケージ	月	27.4		自部署の病棟を中心に特定行為を実施する。週1回の活動日には、組織横断的に実施する。
茨城県西部メディカルセンター		動脈血ガス分析・ など			PHSにて依頼	

特定行為の活動状況					
施設名	所属	特定行為区分	回数		備考
友愛記念病院	HCU	動脈血ガス分析	週	1	
		人工呼吸器関連	月	1	
協和中央病院	外来	瘻孔管理関連	3月	1	修了者が対応できる患者をピックアップし、アセスメント後に、担当医に相談し実践へつなげている。
湖南病院	外来	褥瘡または慢性創傷の治療	週	1	入院患者様の褥瘡廻診実施
		動脈血液ガス採血	月	2～3	救急外来において動脈血液ガス採血

## 鹿行

施設名	所属	特定行為区分	回数		備考
小山記念病院	病棟	精神および精神症状に係る薬剤投与	週	5	入院時チェックリスト活用中
		創傷管理関連	週	1	褥瘡ラウンドに参加
	外来	循環動態に係る薬剤投与関連	週	5	化学療法室在中

## 老人保健施設

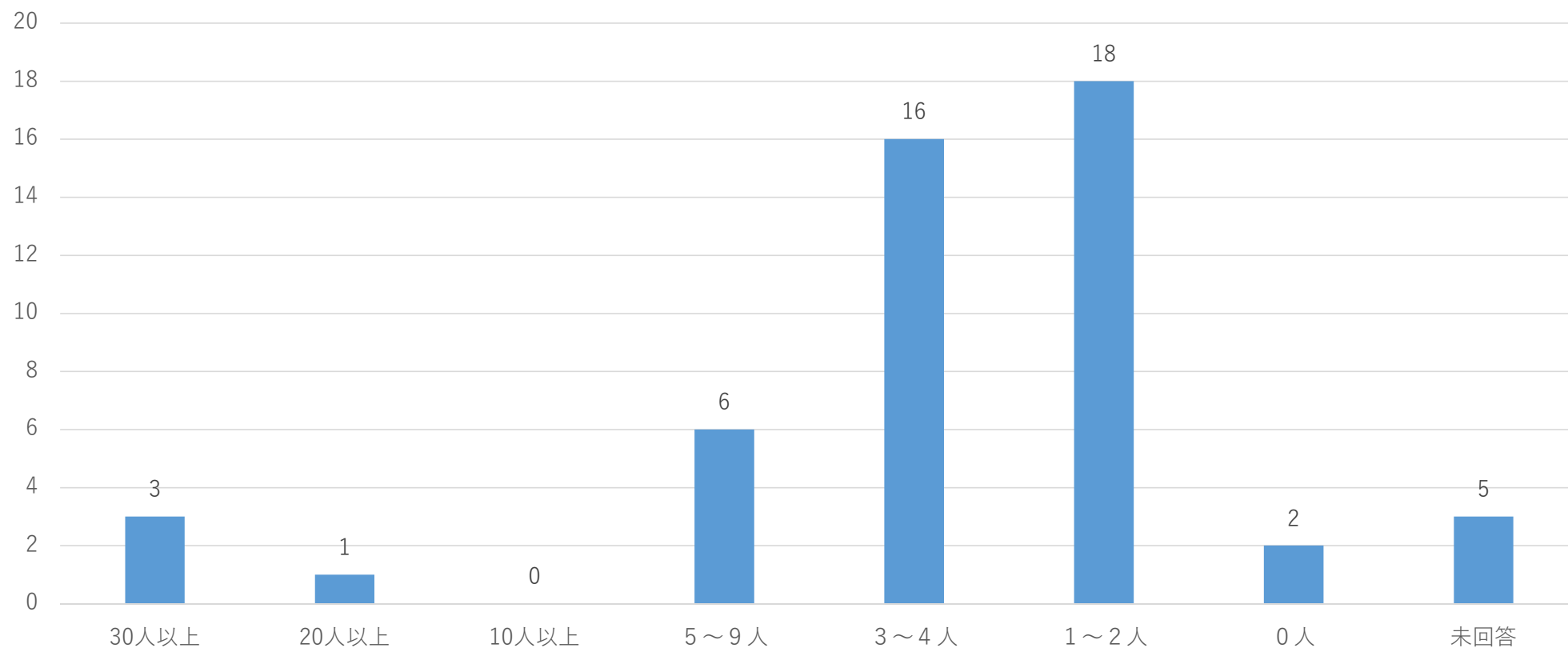
施設名	所属	特定行為区分	回数	備考
葵の園・水戸		栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連・血流のない壊死組織の除去	その都度	手順書活用。

## 訪問看護ステーション

特定行為の活動状況				
施設名	所属	特定行為区分	回数	備考
訪問看護ステーション ゆりかご☆ナース (県央)	訪問看護	血流のない壊死組織の除去		訪問利用者で褥瘡発生、悪化利用者がいるときのみ
訪問看護ステーション 東取手 (県西)	訪問看護	創傷管理関連		創傷管理関連は、今までで患者3名。
		栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連		栄養及び水分管理は今までで患者0名。

茨城県内では、特定看護師が20人以上在籍している施設は4施設。1人～2人在籍の施設が一番多く18施設。毎年計画的に補助金を活用している施設もあります。

## 補助金利用施設の特定看護師数

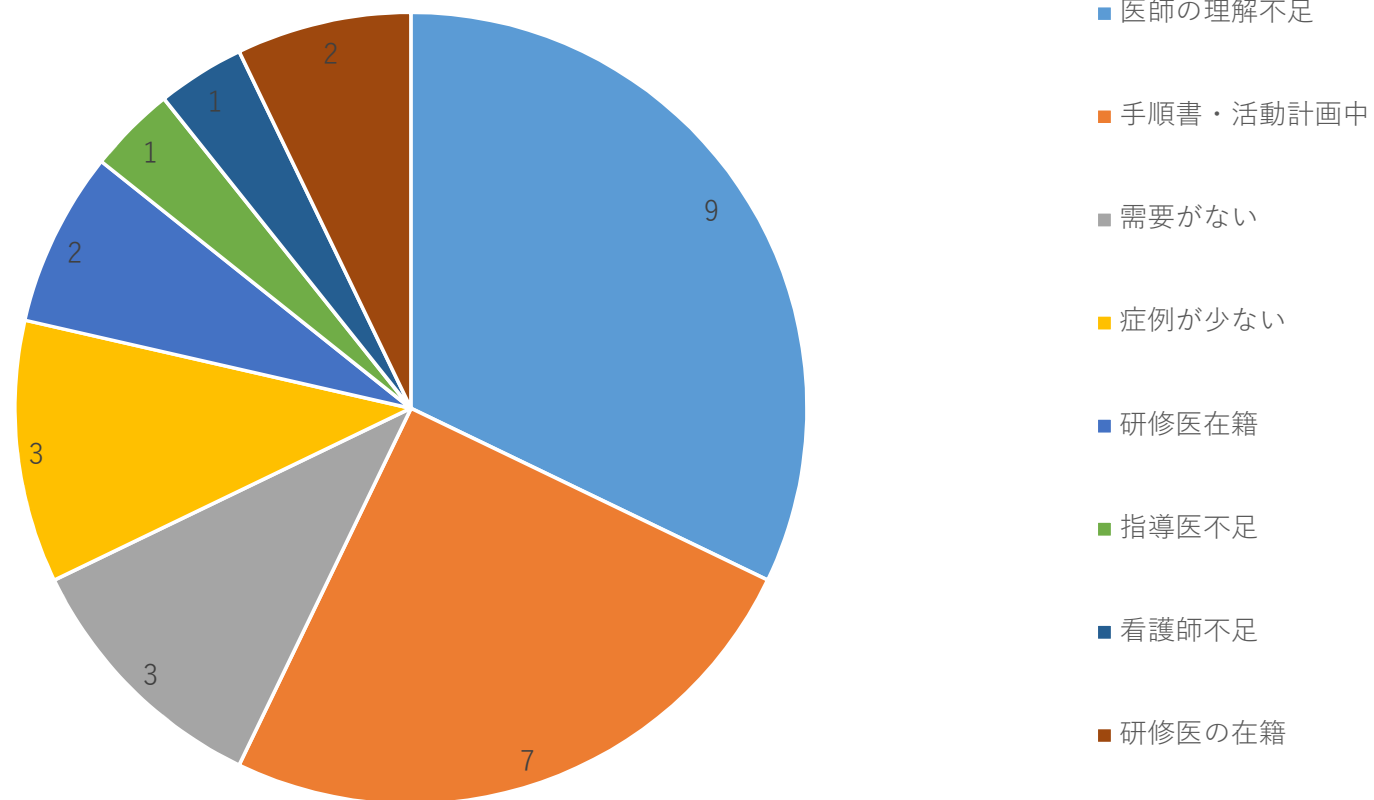


特定看護師の活用に至らない理由の回答は28件でした。

1.医師の理解不足 2.手順書・活動計画の途中 3.需要がない が主な理由。

茨城県では、今後も特定行為の周知や特定看護師の活動状況、医師との連携などを研修をとおして発信していきます。

## 特定看護師の活用に至らない主な理由



茨城県では、引き続き特定行為研修を推進してまいります。  
また、少しでも多くの方に研修を受講して頂けるように、補助金の内容等を検討し、受講しやすい環境整備に努めて参ります。

## 補助金・活動促進へのご意見等

- ・区分追加取得希望者の自己負担金が多い。区分を追加するための補助金があると、さらに医療・看護の質の向上や医師のタスクシフト・シェアに貢献できる。
- ・研修費、研修時間などを含めると個人および組織の負担は大きい。研修費に対する補助金は継続頂きたい。また、研修期間不在となる看護師の補填がなく、多くの病院の現場の看護師の負担は大きい。
- ・特定行為修了者が共有する集いや研修会が定期的にあると良い。
- ・職場から長期間不在になり人件費等の負担や、医師とのタスクシェアにも貢献出来るため、診療報酬上での加算算定ができる行為を増やしてほしい。
- ・チーム医療の中で活躍できる看護師が増えるためには、研修修了後の継続研修、ブラッシュアップ研修、ステップアップ研修等の確立や補助が必要。
- ・養成にかかる補助金よりも、活動に伴うインセンティブをあげていかないと、負担ばかり増加している。特定行為研修修了者を増やして活躍させるためには、診療報酬への反映が必要。そして本人たちに還元が必要。